

令和7年7月2日(水)
14:00 ~ 14:40

第121回東京都技術会議

東京都技術会議組織名簿

(座長)

東京都技監 (都市整備局長・都市整備局技監 兼務)

谷崎 馨一 (土 木)

(副座長)

住宅政策本部長

山崎 弘人 (建 築)

建設局長

花井 徹夫 (土 木)

下水道局長

藤橋 知一 (土 木)

(委員)

政策企画局技監 (スポーツ推進本部技監 兼務)

朝山 勉 (土 木)

デジタルサービス局次長

佐久間 巧成 (土 木)

都市整備局技監

栗谷川 哲雄 (建 築)

都市整備局理事 (航空政策・交通基盤整備・交通政策担当)

三宮 隆 (土 木)

保健医療局技監 (福祉局技監 兼務・教育庁技監併任)

成田 友代 (医 師)

建設局道路監 (デジタルサービス局理事 (データハイウェイ推進担当) 兼務)

久野 健一郎 (土 木)

港湾局技監

村田 拓也 (土 木)

水道局技監

鈴木 理 (土 木)

※ 財務局 建築保全部長

金子 陽子 (建 築)

※ 環境局 環境改善技術担当部長

丹野 紀子 (環境検査)

※ 中央卸売市場 環境改善担当部長

中井 宏 (土 木)

※ 東京消防庁企画調整部長

上原 源隆 (消 防)

※ 交通局 車両電気部長

生越 啓史 (電 気)

※ 交通局 建設工務部長

坂口 淳一 (土 木)

※ (産業労働局所管) 地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター
研究開発本部機能化学材料技術部長

清水 研一 (理工技術)

※ : オブザーバー

会 議 次 第

1 開 会

2 議 題

令和7年度の活動内容について

3 そ の 他

4 閉 会

東京都技術会議の概要とこれまでの主な取組

東京都技術会議の概要

- 東京都技術会議は平成4年発足以降、都政の重要かつ緊急な課題に対し、**技術的側面から意見交換**を実施
- これまで**技術水準の維持向上、技術職員の確保・育成・活用等のあり方**や**社会情勢を踏まえた取組**などを議論
- 昨年からは**事務局は政策企画局常設**となり、**総合調整機能**を発揮し、**有機的な連携を図る体制**を基に検討

これまでの主な取組

インフラ・まちづくり

- 「公共工事の品質確保」
- 「建設業の魅力向上」
- 「社会づくりやまちづくり」

都市外交

- 「海外との技術協力」
- 「海外への技術支援」
- 「海外事例の調査」

危機管理

- 「復旧復興」
- 「高度防災都市づくり」
- 「感染症との共存」

先端技術

- 「行政サービスのデジタル化」
- 「ICT化」
- 「DXの推進」

医療福祉

- 「保健・医療・福祉サービスの情報提供の充実や拡大」
- 「危機管理体制」

技術力維持向上

- 「自己啓発」
- 「技術継承」
- 「技術職員の確保や育成」

東京都技術会議の役割について

- 東京都技術会議では、時代背景を踏まえた検討により蓄積してきたノウハウを生かし各局施策を下支え
- 設立当初から一貫して取り組んできた技術職員の技術力の維持向上、時代の潮流を捉えた新たな技術を活用・実装していくことをミッションとして技術職員が共有し活動を展開
- その成果を、2050東京戦略に掲げる政策に反映させていく

「2050東京戦略」
に掲げる社会課題

まちの安全・安心の向上

都市の強靱化

ゼロエミッションの推進

働き方改革

魅力・活力あふれる拠点形成

交通インフラの強化

医療体制の充実

防災力の向上

水辺のにぎわい・緑の創出

デジタルによるQOL・QOS向上

都市整備局

住宅政策本部

建設局

下水道局

政策企画局

デジタルサービス局

保健医療局

港湾局

水道局

財務局

環境局

中央卸売市場

消防庁

交通局

産業労働局

技術会議の構成局等

東京都技術会議

- Mission 1 : 時代背景を捉えた検討・ノウハウ蓄積により各局施策を下支え
- Mission 2 : 約12,000人の技術職員が有する技術力の維持向上
- Mission 3 : 全庁連携により新技術を活用・実装

令和7年度の主な取組 ～Mission1（各局の施策を下支えする取組）～

技術職員確保の取組強化

- 人事委員会や人事部と連携した採用活動の展開
- なかには個別の職員と出身大学とのつながりのみに頼ってきた**大学訪問**を、**より組織的な対応に改善する仕組みを検討**（大学訪問先のリスト化・進行管理の充実、効果的なPR資料の作成、大学との交流促進等を検討）



[大学訪問における採用活動の状況]

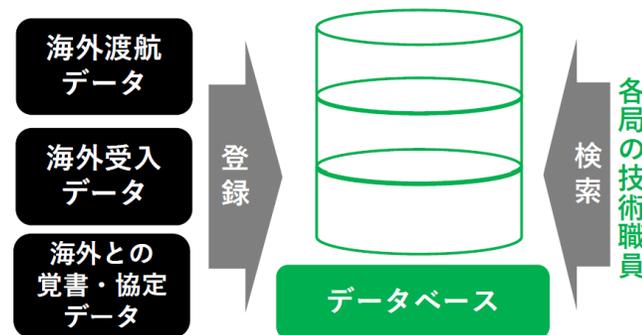


[デジタルサイネージを活用したPR]

浄水場での点検作業

海外交流実績の整理・分析・共有

- 海外交流実績データベース（現在：約330件/3年）について、**データを増加**させるとともに、更に利用しやすい方式に**バージョンアップ**
- 海外交流実績の分析 等

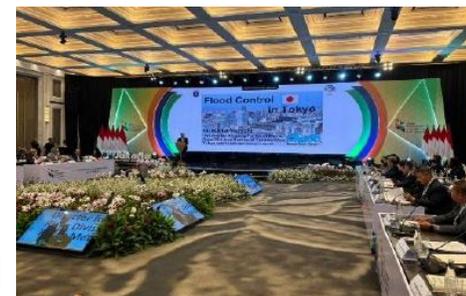


<データベースの主な項目>

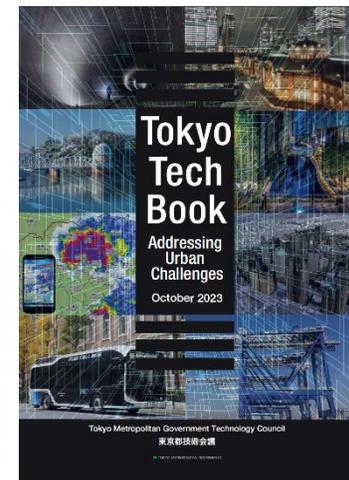
- ・技術分類
- ・得られた成果
- ・成果の活用方針
- ・報告書等

都の先進的な取組の発信

- Tokyo TechBook、東京TECHブログ等のツールを活用した取組の発信
- 国際会議等を活用した**都の先進的技術の発信等**



[国際会議におけるプレゼンテーション]



技術力の蓄積に向けた取組の推進

- 昨年、若手技術職員のニーズ把握のためのアンケート調査を実施。**若手課長代理級まで対象を広げ、調査を実施し分析するとともに調査結果を踏まえた取組検討**
- 今後のキャリアプラン**を想像しやすくするための資料（入都後の異動パターンを整理）の充実
- 女性技術職員の活躍に向け、**WAの取組と連携**

< R6年度若手技術職員アンケート結果概要 >

- ・調査対象 年度末19歳～35歳の技術職員
- ・回答数 1,635名（回答率42%）
- ・主な回答

● 入都動機



● 入都後に感じたギャップ



● 最も満足していること



● 最も不満に思うこと



区市町村等との技術連携の取組

- 都市のインフラは多様な主体（国・都・区市町村）により整備。すべての主体による適切かつ継続的な管理・整備が必要。都と区市町村では研修面の交流はあるものの、都と比べ職員規模の小さい**区市町村等における技術面の課題**を、ヒアリング等から詳細に把握し、**連携した取組について検討**

技術職員数（令和6年4月1日時点）

（下段：総職員に対する割合）

都	区	市町村
約8,000名	約200名 （約100～500名）	約80名 （数名～約300名）
約20%	約9%（平均）	約8%（平均）

※都及び区は各人事委員会資料、市町村はアンケート結果を基に政策企画局で独自に編集
※対象職種は土木・建築・機械・電気

区市町村研修への講師派遣（令和6年度実績）

講師派遣先	研修内容
区	道路構造令、都市計画道路、公園管理、建築保全、土壌汚染対策 等
市町村	営繕工事の積算・監督・安全対策・成績評定 道路工事の施工管理・維持管理 等

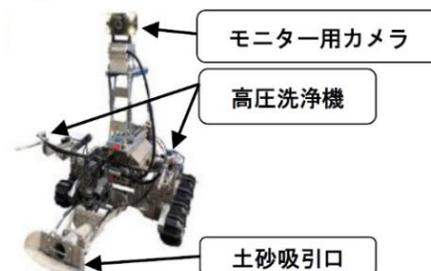
※特別区職員研修所・市町村職員研修所HPを基に政策企画局で独自に編集
※講師派遣のほか、都の技術研修への区市町村職員受入れも実施

DX・AI等の活用促進

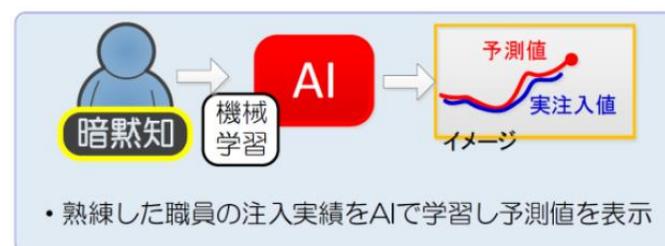
- 各取組の**試行結果や課題等の横展開**を促進
- デジタルサービス局、GovTech東京、スタートアップ戦略推進本部等と連携し、**デジタル技術の実用化・深度化**を促進
- 他自治体や民間企業等が実施する先進的なDX・AIの**取組事例**について導入検討



[遠隔臨場による施工管理]



[下水道管の無人清掃ロボット]



[AIを活用した浄水場における薬品注入支援]

グローバル専門人材の交流促進

- 令和8年度開始の海外大学院派遣プログラムを見据え、**グローバル専門人材のコミュニティ形成**や、**人材活用**に向けた交流サイトを構築
- 海外留学先候補のリスト化、一覧作成

技術職員のデジタルリテラシー向上

- 現在都で活用している**デジタル技術に関する研修会**を開催
- 日々進化する**生成AIを実務に取り入れるための育成の取組**を検討

都庁技術職員向けデジタル技術研修会イメージ



[VR操作体験]



[技術展示]

令和7年度の技術会議の推進体制

○令和7年度を取組内容を細分化し、生産性向上、国際発信力強化、技術力維持向上に分類するとともに、それぞれ部会を設置し、効果的・効率的に議論を開始

凡例： ● 生産性 ● 国際 ● 技術力

Mission1（各局の施策を下支えする取組）

技術職員確保の取組強化 ●

海外交流実績の整理・分析・共有 ●

技術分野における都の先進的な取組の発信 ● ● ●

Mission2（技術力の維持向上を図る取組）

技術力の蓄積に向けた取組の推進 ●

区市町村等への技術的支援の展開 ●

Mission3（新技術を活用・実装する取組）

DX・AI等の活用促進 ●

グローバル専門人材の交流促進 ●

技術職員のデジタルリテラシー向上 ● ● ●

3つの部会で推進
各取組を

全体事務局 (政策企画局・都市整備局)

部会
(括弧内は幹事局)

生産性向上部会
(建設局・港湾局)

国際発信力強化部会
(水道局・住宅政策本部)

技術力維持向上部会
(交通局・下水道局)

生産性向上部会

●DX・AIの活用促進

- ・各取組の試行結果や課題等の横展開を促進
- ・デジタルサービス局、GovTech東京、スタートアップ戦略推進本部等と連携し、デジタル技術の実用化・深度化を促進
- ・他自治体や民間企業等が実施する先進的なDX・AIの取組事例について導入検討
- ・施工会社へのアンケート調査の実施、分析
- ・フェーズごと（計画・設計・施工・維持管理）のロードマップに沿った各取組の共有

●技術職員のデジタルリテラシー向上

- ・都で活用しているデジタル技術に関する研修会開催
- ・日々進化する生成AIを実務に取り入れるための育成の取組を検討

国際発信力強化部会

●海外交流実績の整理・分析・共有

- ・海外交流実績データベースのデータ増加、利用しやすい方式へのバージョンアップ
- ・効果的なPR戦略の検討
- ・海外交流事例集の作成、整理
- ・国際発信ツール（PRペーパー等）の更新

●国際会議等における先進的な取組の発信

- ・国際会議等でのプレゼン、ブース出展
- ・SNSによる技術力・取組の発信
- ・海外技術者との現場視察、意見交換
- ・海外主要都市への渡航調査等
- ・開発途上国への技術支援、協力
- ・国や学会、業界団体等が主催・参加する国際会議の開催状況調査

●グローバル専門人材の交流促進

- ・グローバル専門人材のコミュニティや人材活用に向けた交流サイトの構築
- ・海外留学先候補のリスト化

技術力維持向上部会

●技術職員確保の取組強化

- ・組織的な大学訪問（訪問先のリスト化、訪問体制の検討、年間計画の策定、大学との交流促進、進行管理の徹底、PR資料の充実）
- ・東京TECHブログ等による情報発信強化
- ・現場見学会等により技術職の仕事の魅力体感
- ・入都試験合格者へのフォロー（本庁職場見学会、各局事業説明会）
- ・経験者採用のPR

●技術力の蓄積に向けた取組の推進

- ・課長代理級職員、若手技術職員向けアンケートの実施、分析
- ・キャリアモデルの充実、活用の検討
- ・女性技術職員の活躍に向けWAの取組と連携
- ・現場講習会の充実（各局インフラ施設の視察）
- ・ICT・DXを含む先端技術の研修の開催
- ・TOKYO空き家魅力発信プロジェクトの支援

●区市町村等との技術連携の取組

- ・区市町村等における技術面の課題把握、ヒアリングの実施、連携した取組の検討

令和7年度のスケジュール

	第一四半期			第二四半期			第三四半期			第四四半期		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
本会議				★ 今年度の取組方針の決定					★ 中間報告			★ 最終報告
幹事会			○					○			○	